

特集

徹底討論！ そのとき精神科訪問看護は どう関わればよかったか

「精神科訪問看護は何をよりどころにケアをしたらよいのかが分からない」。そのような声を聞くことがあります。ケアの効果が可視化されづらい精神科訪問看護の性質もありますし、精神症状そのもののつかみどころのなさであったり、本人または家族との対人関係上の困難さであったりと、一筋縄ではいかないケースも確かに存在するようです。

そのような中でもポイントを外さず、しっかりと支援をしていくためには、どのような視点が必要で、どんな関わり方が求められるのでしょうか。本特集では、精神科訪問看護を専門とする小瀬古伸幸さんと一緒にそれを考えていきます。目玉となるのは、事例の振り返り討論会です！ 訪問看護師・濱本千春さんが提供してくださった「もやもやを残している過去の事例」をもとに、精神科訪問看護としてどう関わる余地があり得たかを振り返ってみます。

一般論としての精神科訪問看護のアセスメント ——セルフケアモデルを軸に

●小瀬古伸幸

徹底討論！「このケースは精神科訪問看護として どう関わればよかったのだろう」

●濱本千春／小瀬古伸幸

新連載

「Hallo！ ポジティブヘルス——オランダからの“健康”の 新概念」

●川田尚吾

※一部変更となることがあります。

編集後記

在宅看取りを実践するにあたって不可欠なのは、適切な知識・技術なのだと思います。しかしながら、動機付けや後押しになるのは、誰かの具体的な物語であることも少なくありません。「特別なあの人」の物語を通し、同じ実践者の方々に応援したいというのが本特集の主旨でした。▶当たり前ののですが、執筆者6人の物語はそれぞれがそれぞれ固有のエピソードであり、ディテールはまったく異なるものです。それでも、個々のエピソードが乱反射し合い、在宅ケアの醍醐味や専門性の輝きを映し出しているように感じられました。今回の特集、皆さんにはどう響くのでしょうか。もしかしら、記事に触発され、読者の皆さんがかつての実践を振り返ったり、語ったりすることでようやく完結する、そんな特集なのかもしれません。いつか皆さんの特別な「あの人」も聞かせてください。▶今回、巻末に特別企画「チャートで訪問看護業界2022年版」を掲載！ 統計的なデータを通し、現在の事業所の立ち位置を確認し、今後の運営の舵取りに役立てていただければ幸いです。今号は、訪問看護をミクロに見たり、マクロに見たりと、なんだか慌ただしい（でも充実の!）1冊です。…小池

訪問看護と介護 第27巻 第5号（通巻311号） 2022年9月15日発行（隔月15日発行）

発行：株式会社医学書院 代表者：金原俊

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo*2022, Printed in Japan

1部定価：1,650円（本体1,500円+税10%）

販売・PR部：☎03-3817-5650 社内案内：☎03-3817-5600

『訪問看護と介護』編集室：☎03-3817-5787 FAX03-5804-0485 担当：小池・木下

E-mail houmon@igaku-shoin.co.jp Twitter @houmonkango Facebook @houmonkangotokaigo

医学書院ホームページ <https://www.igaku-shoin.co.jp/> ウェブマガジン『かんかん!』 <http://www.igs-kankan.com>

印刷：三報社印刷株式会社

本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は株式会社医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為（複写、スキャン、デジタルデータ化など）は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的（診療、研究活動含む）で上記の行為を行なうことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行なうことは違法となります。

JCOPY 出版者著作権管理機構委託出版物

本書の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。

複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

*「訪問看護と介護」は株式会社医学書院の登録商標です。